

8章 データを追加・更新しよう

8章 データを追加・更新しよう

SQLによるデータ操作のうち、追加と更新について学びます。

本章の目標

- SQLでテーブル内のデータを追加および更新する方法を知ること
- SQLでテーブルにコメントを追加する方法を知ること

8章 データ追加・更新の重要性

アプリやサービス開発では、データを追加したり更新したりする操作が必須です。

投稿アプリの例

- **新規投稿** → データの追加
- **投稿の編集** → データの更新

重要なポイント

- データの追加はINSERT文
- データの更新はUPDATE文
- どちらもアプリ開発で頻繁に使用する

8章 INSERT文とは

INSERT文は、テーブル内にデータを追加するSQL命令です。

- INSERTは「挿入する」という意味
- テーブルに対して「〇〇というデータを追加してください」と命令
- アプリやサービスでは会員登録や新規投稿など、新しくデータを追加する際に使う

主な用途

- 会員登録（新規ユーザーデータの追加）
- 新規投稿（記事や投稿データの追加）
- 商品登録（商品データの追加）

8章 INSERT文の基本的な書き方

```
INSERT INTO テーブル名 (カラム名1, カラム名2, カラム名3)  
VALUES (値1, 値2, 値3);
```

ポイント

- INTO (～の中に) のあとに追加先のテーブル名と追加対象のカラム名
- VALUES (値) のあとに追加する値を記述
- **追加対象のカラム名と追加する値は順番どおりに書く**
- 例：カラム名を (id, name, age) にしたら、値も同じ順番で (1, '侍太郎', 36)

8章 UPDATE文とは

UPDATE文は、テーブル内のデータを更新するSQL命令です。

- UPDATEは「更新する」という意味
- テーブルに対して「〇〇というデータを更新してください」と命令
- アプリやサービスではユーザーの住所変更や投稿内容の編集など、データを更新する際に使う

主な用途

- ユーザー情報の変更（住所、メールアドレスなど）
- 投稿内容の編集
- 商品情報の更新（価格、在庫数など）

8章 UPDATE文の基本的な書き方

```
UPDATE テーブル名  
SET カラム名1 = 値1, カラム名2 = 値2  
WHERE 条件式;
```

ポイント

- UPDATE のあとにテーブル名
- SET (セットする) のあとに更新するカラム名とその値
- WHERE (どこに) のあとに「どのデータを更新するか」を判定する条件式
- **WHERE句を忘れると、テーブル内のすべてのデータが更新されてしまう**

データの追加

```
INSERT INTO テーブル名 (カラム名1, カラム名2, カラム名3)  
VALUES (値1, 値2, 値3);
```

データの更新

```
UPDATE テーブル名  
SET カラム名1 = 値1, カラム名2 = 値2  
WHERE 条件式;
```